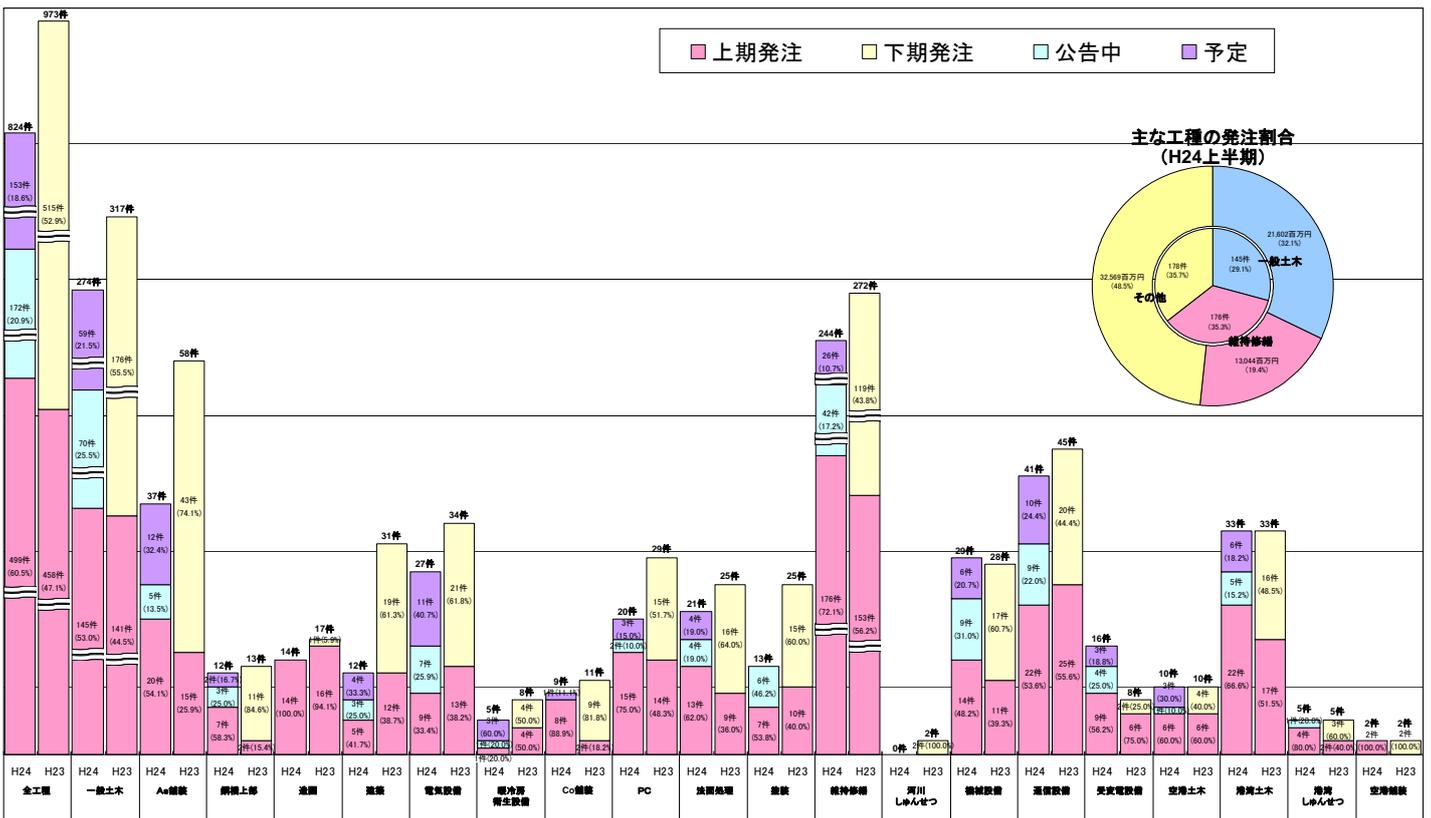


- **全499件(67,215百万円)の工事を発注**  
(H23; 458件〔H24/H23=1.09〕、60,422百万円〔H24/H23=1.11〕)
- **発注予定工事の約824件(未公表含まず)のうち約60.6%**  
(H23; 件数 973件、金額128,356百万円)
- **発注件数が多い工事種別**
  - ①維持修繕 176件(13,044百万円)〔件数35.3%、金額19.4%〕
  - ②一般土木 145件(21,602百万円)〔件数29.1%、金額32.1%〕
  - ③その他 178件(32,569百万円)〔件数35.6%、金額48.5%〕
- **入札契約方式**
  - **一般競争 497件、段階選抜(公募型指名競争) 1件、随意契約 1件**
- **総合評価落札方式(498件)**
  - **簡易型 403件、標準型(I型) 15件、標準型(II型) 78件**
  - **施工能力評価型(I型) 1件、施工能力評価型(II型) 1件**
- **低入札工事件数 184件(うち契約 2件;機械設備工事)**
  - **一般土木71件(38.6%)、維持修繕47件(25.5%)、その他66件(35.9%)**
- **平均落札率 89.4%、平均応札率 92.1%(平均応札者数 6.5社)**

## 平成24年度上半期の入札・契約状況

### 1. 平成24年度上半期の工種別契約状況(港湾空港関係含む)

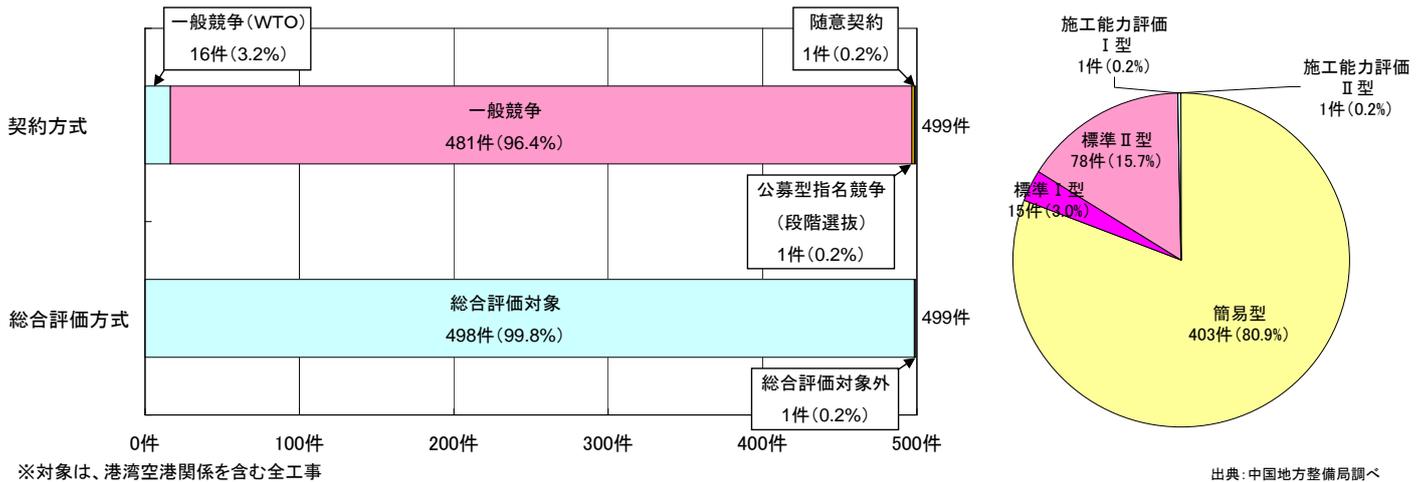


# 平成24年度上半期の入札・契約状況

## 2. 平成24年度上半期の入札・契約の状況(港湾空港関係含む)

◆平成24年度は、引き続き「品確法」及び「入札談合の再発防止対策」に基づき、一般競争入札及び総合評価方式に取り組んできたところである。

- 一般競争入札(H24.9月末時点)
  - 全発注工事件数に対する割合は**499件中497件(99.6%)** [参考:23年度全体で98.7%(960件)]
- 総合評価方式(H24.9月末時点)
  - 全発注工事件数に対する割合は**499件中498件(99.8%)** [参考:23年度全体で約98.8%(961件)]
  - 方式別では、**標準型が93件(約19%)、簡易型が403件(約81%)、施工能力評価型が2件(0.4%)**

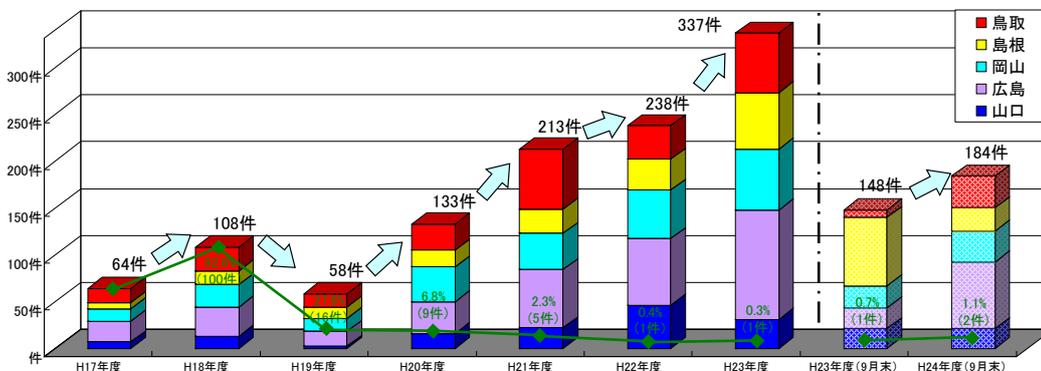


# 平成24年度上半期の入札・契約状況

## 3. 低価格入札の発生状況

- ◇低価格入札の発生件数は平成18年度に、低入札工事の契約件数が最も頻発したが、施工体制確認型総合評価方式及び特別重点調査の適用拡大により、H19年度の発生件数は概ね半減した。しかし、近年の公共事業予算減少に伴う競争激化から、H19年度以降発生件数は再び増加傾向となっている。
- ◇平成24年度上半期の発生件数(184件)は、平成23年度上半期の発生件数(148件)を約1.24倍と上回った。また、低価格入札での契約については2件と昨年度とほぼ同等(H23:1件,0.7%→H24:2件,1.1%)であった。

中国地方整備局における年度別低入札発生件数(県別発生件数)



※H17以降は、港湾空港関係を含む件数。  
※( )は当年度低入札契約件数を示す。発生率は、低入札契約件数/低入札発生件数。

発生年度	H22年度	H23年度	H24年度 H24.9.30現在
鳥取	36/152 (23.7%)	64/158 (40.5%)	34/80 (42.5%)
島根	33/271 (12.1%)	60/267 (22.5%)	25/102 (24.5%)
岡山	52/109 (47.7%)	65/116 (56.0%)	33/80 (41.3%)
広島	71/343 (20.7%)	117/312 (37.5%)	71/183 (38.8%)
山口	46/117 (39.3%)	31/89 (34.8%)	21/53 (39.6%)
計	238/992 (23.9%)	337/942 (35.8%)	184/498 (36.9%)

出典:中国地方整備局調べ  
発生件数/発注件数  
( ) : 発生率

## H24上半期における新たな試行の状況

- 地方自治体発注工事の成績評価対象工事  
(3億円未満の簡易型、一般土木工事、維持修繕工事)
  - ・対象工事157件のうち地方自治体の工事実績の申請は、  
企業実績で41件(約26%)、〔延べ49社〕  
配置予定技術者実績で69件(約44%)、〔延べ110社〕
  - ・さらに、契約に至った工事は企業実績で3件(約2%)  
配置予定技術者実績で12件(約8%)
  - ・下半期は、約170件で試行予定
- 配置予定技術者評価の見直し(担当技術者の経験の評価に追加)
  - ・対象工事299件のうち86件(約29%)〔延べ127社〕  
が担当技術者の経験を申請
  - ・さらに、契約に至った工事は13件(約4%)
  - ・下半期は、約200件で試行予定(※配置予定技術者評価の緩和対象)
- 情報化施工情報化施工対象工事(36件)
  - ・うち、総合評価対象15件(約42%)、発注者指定型21件(約58%)
  - ・うち、一般化推進技術36件、実用化推進技術0件
  - ・下半期は、65件で試行予定

## H24上半期における多様な発注方式の試行状況

- 段階選抜型入札方式(1件)
  - ・一般土木工事 1件(トンネル工事)
  - ・下期試行予定 3件(トンネル1件、鋼橋1件、PC1件)
- 地元企業活用促進型
  - ・上半期試行実施 15件、下半期試行予定 22件
- 特定専門工事審査型
  - ・上半期試行実施 2件、下半期試行予定 0件
- 現場従事技術者評価型
  - ・上半期試行実施 48件、下半期試行予定 72件
- 工事関連データの提供
  - ・上半期試行実施 20件、下半期試行予定 23件
- ITを活用した現場説明会
  - ・上半期試行実施 0件、下半期試行予定 1件